

ゼミナール紹介

担当者名	新井立夫							
e-mail アドレス	tatsuo@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	3301							
在室曜日・時限	月：3 水：18:10～ 木：2、5、16:40～ 金：16:40～							
個別説明会（日時・場所）								
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	1407 教室	1407 教室	1407 教室	1407 教室	1407 教室	1407 教室	1407 教室
2017 年度担当科目	基礎簿記演習、キャリア形成基礎、商業科教育法Ⅰ、商業科教育法Ⅱ、総合演習、教育実習 B（高校）、教育実地研究、教職実践演習、キャリア・職業指導、インターンシップ、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、卒業研究、公共経営実地演習、教職概論、生徒指導・進路指導論							
選抜方法	面接							
ゼミナール紹介	<p>本ゼミナールは、キャリア教育（進路指導含む）及びキャリアカウンセリングの必要性を認識し、企業の人材育成の仕事に従事したい者、公務員を目指す者や教職に就くことを目標とする者、あるいは、将来「キャリア・デベロップメント・アドバイザー」などの取得を目指す学生に履修してほしい。</p> <p>学習は、キャリア教育の意義、必要性を理解することから始まり、キャリアカウンセリングの理論や演習を通し、キャリアコンサルティング、キャリアアドバイザーなど「他人のキャリアを支援する」専門職に就ける人材育成とともに、「自分のキャリアを見つめなおしたい」という目的などを体験的に学び、キャリアビジョンを描き、意図的に行動し、実践できるようになることが、到達目標である。また、必要に応じて研究発表会、ゼミ遠征、自主的な勉強会を実施するものとする。</p>							

ゼミナール紹介

担当者名	石田 晴美							
e-mail アドレス	ishida@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	3413 研究室							
在室曜日・時限	水（昼休み）							
個別説明会（日時・場所）	行わない							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	1306	1306	1306	1306	1306	1306	1306
2019 年度担当科目	ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ							
選抜方法	応募者多数の場合は面接を行う							
ゼミナール紹介	<p>本ゼミは主に「財務会計」をテーマとする。</p> <p>教員が与えたテーマについて学生が調べ発表する形式とテキストの輪読または財務諸表分析を交互に行う。各テーマでは、基本書・参考書の他、各種会計基準等の原本に必ず触れることを心がけている。</p> <p>ゼミ在籍中に日商簿記3級に合格することがゼミ生に課せられる最低限の課題である。</p> <p>評価方法は、ゼミナールへの参加、授業への取り組み、課題の提出、日商簿記3級の資格取得等により評価する。無断欠席は認めない。</p> <p>公認会計士・税理士などの会計専門職を希望する者を歓迎する。</p> <p>ゼミは、学生自らが調べ考え、発表する場であることを肝に銘じること。</p>							

ゼミナール紹介

担当者名		石塚 浩						
e-mail アドレス		ishizuka@shonan.bunkyo.ac.jp						
研究室		3314 研究室						
在室曜日・時限		月4、水5、金234						
個別説明会（日時・場所）								
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	×	○	○	○	×	○	×
	場所		4203	4203	4203		4203	
2019 年度担当科目		経営戦略論 経営組織論 組織デザイン論、組織行動論						
選抜方法		成績 提出書類 面接 (選抜に関わる連絡を学籍番号メールで行う)						
ゼミナール紹介		<p>ゼミナールⅠでは、企業の戦略行動の基礎にある論理を探ることを通して、具体的な経営戦略について考えていく。最初はテキストを読み進めながら、経営戦略の基本的な概念を理解し、それをベースに現実の企業の事例研究に取り組む。ゼミナールⅡでは基礎的な理解が備わったところで事例研究をさらに深めていく。各事例における多様な経営問題を考えることで、理解力と思考力を養う。問題解決に求められる能力の獲得が、ゼミナールⅠとⅡを通した達成目標である。</p> <p>毎回の基本的なゼミの進め方は、事前に配布された資料をもとに報告者2名が内容を報告する。報告に対する質疑応答のあとで、グループワークを行う。自ら思考し自ら主張すること、チームで議論し結論を導くことを重視する。</p> <p>卒業研究ではゼミナールで学んだことをベースに、各自の興味と関心を出発点にして卒業論文を作成してもらう。なお本研究室では、所属学生の全員に卒論作成を求める。</p>						

ゼミナール紹介

担当者名	金 必中(キム ピルチュン)							
e-mail アドレス	pjkim@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	5403							
在室曜日・時限	月・5、 木・4							
個別説明会（日時・場所）	10月10日(木) 15:10~16:20 ・ 5403室 10月21日(月) & 28日(月) 12:40~13:00 ・ 5403室 10月24日(木) & 31日(木) 15:10~16:20 ・ 5403室							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	×	×	○	○	×	×	×
	場所			4302	4302			
2019年度担当科目	マーケティング、マーケティング戦略、マーケティング戦略事例研究、 マーケティング・リサーチ、マーケティング・リサーチ演習、流通論、 知の探究、国際地域論A							
選抜方法	書類選考と面接							
ゼミナール紹介	<p>金ゼミは、マーケティングと流通に関して詳しく勉強するゼミである。さまざまな事例研究とグループ研究調査活動を通じて、企業のマーケティング活動について幅広く理解するとともに、それに関連する諸問題について研究と調査を行い、マーケティング戦略の実戦的・専門的な知識やノウハウを習得することを、目的としている。</p> <p>ゼミは、3年生では、文献研究・事例研究・学外見学と小グループ活動を通じて、資料を作成・発表し質疑応答する形で進めていく。テーマは、ゼミ参加学生の関心分野を中心に選定する。ゼミの時間では実戦的な知識と調査分析手法を習得しながら、質疑応答を通じて各自の問題解決能力やプレゼンテーション能力を高めて、ゼミ全体のレベル・アップを図る。</p> <p>そして、4年生では、各自自分の問題意識を極めながら興味深いテーマを選定し、卒業論文としてまとめていく。</p> <p>マーケティング研究は人間の研究ともいえ、ゼミの活動や成果はゼミ生間のリレーションシップとチームワークが何より大切である。したがって、金ゼミは、やる気と誠実さ、マーケティング研究に強い興味や関心を持ち、真面目に学問探求に取り組む意思と姿勢をもっている学生の参加を求める。そして、多様なゼミ活動やゼミ合宿などの際には、原則全員参加とする。</p>							

ゼミナール紹介

担当者名	志村 正							
e-mail アドレス	shimura@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	5 4 0 2							
在室曜日・時限	月, 火, 水, 金							
個別説明会 (日時・場所)	説明会は特に設けていません。研究室でいつでも説明可。							
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否				○	○	○	○
	場所				4403	4403	4403	4403
2019 年度担当科目	『基礎簿記演習』『企業会計』『原価計算Ⅰ』『管理会計論』『アカウンティング演習A』『アカウンティング演習B』『ゼミナールⅠ・Ⅱ』『管理会計情報特論』(大学院)							
選抜方法	定員を超えた場合には、G P A, 面接, 希望理由を勘案して決定する。							
ゼミナール紹介	<p>管理会計は経営 (マネジメント) に役立つ会計である。会計をどのように用いれば企業の業績を改善できるか、利益を向上させることができるのかを考えていく。業績は一般には利益の大きさによって判断されるが、利益を上げるためには、売上の増加、コスト・ダウン、資源の効率的利用が不可欠となる。どこにコストを削減する余地があるのか、どこに利益を増大させるヒントが隠されているのかを発見する方法と技法を学んでいく。管理会計は会計を前向きに活用し、お金をどうすれば増やせるかを考えていきます。会計の経営への活用のアイデアと思考方法を身に着けることが学習の目標となる。</p> <p>主なテーマは次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損益分岐点分析による利益計画の策定 ・ROE、ROA、EVA などの会計指標の特徴 ・事業部制の業績評価 ・バランスト・スコアカード ・予算管理 ・意思決定問題 など <p>ゼミの内容や見学会のご案内は次のサイトをご覧ください。 http://www.bunkyo.ac.jp/~shimura/zemipage.htm</p> <p>プロフィールも研究室ホームページに掲載しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定を初め、FP 技能士検定、IT パスポートなどの資格を目指す人を歓迎します。 ・会計に関心があり、本当に勉強したい人を望みます。 ・3年次に『管理会計論』と『アカウンティング演習B』を履修すること。 ・4年次に『ゼミナールⅡ』を履修すること。できるかぎり『卒業論文』を修得してほしいと思います。 ・『原価計算』を履修しておくとう理解しやすいと思います。 							

ゼミナール紹介

担当者名	鈴木 誠							
e-mail アドレス	mcsuzuki@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	6211 研究室							
在室曜日・時限	水曜 昼、金曜昼、3時限目							
個別説明会（日時・場所）	6106 教室 11時より11時20分							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	○	○		○	○	×	○
	場所	6106	6106		6106	6106		6104
2019年度担当科目	知の探求、企業と市場の経済学、起業論、企業と市場の経済学、データ処理Ⅰ プレゼンテーション							
選抜方法	1. やる気があること、2. 必要とされる基礎知識を有していること、 3. 2年時までの成績等により総合評価							
ゼミナール紹介	<p>金融を専門として学び、将来、金融機関（銀行、保険、証券会社等）への就職を希望する学生を歓迎しています。</p> <p>本ゼミナールの特徴は、1) 金融機関に就職脂肪するための準備となる知識を得ることができる、2) 繋がりの深い金融機関にてインターンの体験ができる、3) 年1回のゼミ旅行にて、金融とはかけ離れた体験をすることです。</p> <p>具体的に説明しましょう。</p> <p>1) 皆さんの履修できる金融の教科としては「ファイナンス論」や「ファイナンスとコーポレートガバナンス」がありますが、時間的な制約で扱う範囲は一部に過ぎません。ゼミナールでは授業とは異なり、金融について深く、広く学びます。テキストとしてこれまで英語のテキストを利用してきましたが、日本語のテキストを利用することも考えています。</p> <p>2) 今や就職する上でインターシップの経験はとても重要となります。ゼミ単位でインターシップの経験を積ませてくれる金融機関は多くありませんが、友好的な関係にある機関にてこれまでのゼミ生は経験することができました。インターシップに参加することが就職につながるわけではありませんが、他の金融機関等を応募する際にES(エントリーシート)を記入する上で皆さんの経験の一つとして述べるすることができます。</p> <p>3) ゼミ旅行は参加必須としています。ただし、無用な飲み会などはありません。3年生4年生が共に汗を流す経験をします。これは、皆さんの就職面談対策の一環と位置づけています。就職面談では、ほぼ画一的な質問に対して学生も型通りの回答できません。多様な人材が欲しくても、同じ回答で見分けがつかなければ、有名大学の学生を採用せざるを得ません。皆さんが他の大学生がしたことのない経験を積むことで、面接を有利になるようにと考えています。</p>							

ゼミナール紹介

担当者名	根本 俊男							
e-mail アドレス	nemoto@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	3209 研究室							
在室曜日・時限	水曜日, 金曜日 9時から 16時ごろ							
個別説明会 (日時・場所)	特に説明会は実施しません. 水曜日 1・2 時限目に実施しているゼミ見学を推奨. ゼミを実施している 3211 教室は外から中の様子がうかがえませんが, 勇気を出して 3211 教室のドアをノックし覗いてみよう. 別時間で個別相談も可.							
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	○	○	○	×	○	×	○
	場所	3211	3211	3211		3211		3211
2019 年度担当科目	スケジューリング, ネットワークモデル分析, 最適化モデル分析, 問題解決技法演習							
選抜方法	<p>「スケジューリング」単位修得済, または, 「ネットワークモデル分析」単位修得済か現在履修中で単位修得見込みの状況であることが志望の前提条件です. 志望者が多数になった場合は, 「スケジューリング」の成績, 「ネットワークモデル分析」の授業参加 (成績) 状況を基に選抜します.</p>							
ゼミナール紹介	<p>現代社会で重要な能力として広く認知され希求されている「問題解決力を有した人材」を育てるゼミナールです. ゼミナールで用いる主な道具は, 2 年次に学んだ (学んでいる) 「ネットワークモデル分析」や「スケジューリング」といった経営科学分野の講義を通じて習得した科学的なツール群です. これらの問題解決手法の理解をさらに深め, それらを総合的に結び付け, 社会で生じるさまざまな問題の解決に向け利活用できる能力習得を到達目標とします.</p> <p>このように書くと, 理論を学んだり, パソコンに向きあったりとのイメージを抱くかもしれません. しかし, 問題解決の総合力は実践を伴い涵養されます. 手と頭の両方を実際に動かし, 現場を見に学外にも出て, 様々な問題解決の実践を通じて問題解決力を養います.</p> <p>具体的には, 3 年次前半では主に問題解決手法に関する専門書に沿い各自が発表し, 議論を通じて問題解決に必要な基礎知識や基礎ツールの使い方の補強を行います. あわせて, 物事の見方の図解法, 他者とのコミュニケーション手法, プレゼンテーションのコツ, 資料作成方法のトレーニングも行います. 夏休みには, 全員参加で夏合宿を行います. 3 年次後半では, より実践的な実習で理解を深めます. 政策コンテストやビジネスコンテストへチャレンジするゼミ生もいます. 4 年次には, 各人が設定したテーマの下で卒業研究に取り組み, 大学 4 年間の学びの集大成となる卒業論文を作成してください.</p> <p>新しいことにチャレンジしたり考えたりするのが嫌いではないけど, 何をどうすればよいのか分からなかったり, 時間やお金がなかったり, 結果的に今まではあまりアクティブではなかった. でも, ゼミナールでは自分で取り組んだと実感できる創造的な活動をやって卒業したいとの願望をしっかり持っている方に向いているゼミナールです.</p>							

ゼミナール紹介

担当者名		堀田 敬介						
e-mail アドレス		khotta@shonan.bunkyo.ac.jp						
研究室		3304						
在室曜日・時限		2019 年度秋学期オフィスアワーは火曜昼. 出校曜日は火水金. 授業時間は堀田研究室 Web サイトの授業概要で確認可. 出張等なければ月・木も在室. 相談したい時など, 事前にアポは必要なく, 直接研究室を訪ねてよい						
個別説明会 (日時・場所)		単独の説明会を行わない. 研究室在室で急用時でない時はいつでも相談可						
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	×	×	○	○	○	×	×
	場所	—	—	5201	5201	5201	—	—
2019 年度担当科目		「意思決定科学」「問題解決技法入門」「問題発見技法」「データ処理Ⅱ」「英語文献研究」「知の探究」他						
選抜方法		「問題解決技法入門」を履修済か履修中であること. 定員を超えた場合, 「問題発見技法」「データ処理Ⅱ」履修済の学生を優先. 履修済学生で順位付けが必要になった場合は上記 2 科目の良い成績 1 科目で決定. 面談等は実施しない						
ゼミナール紹介		<p>社会や企業など, 複数人の個人や集団が活動する組織には, 解決を待っている問題がたくさん潜んでいる. より良い活動や組織運営のためには, それらの問題を見つけ出し (問題発見) て, きちんと定義し (問題定義), 改善のために適切なモデル化を行い, 上手く解き, 得られた解を評価し, 解決策を提示する, という一連の意思決定過程 (問題解決) を要する. 本ゼミでは, 1, 2 年次に得た基礎知識を再確認し, この問題発見・問題解決の勉強に取り組む. これらを, 互いの考えをぶつけあう議論や演習を通して身につける.</p> <p>議論に中身を持たせるためには, 討議者はそれに相応しい素養・知識を身につけていなければならない. ただ単位を取ることに注力してきた学生は, その素養はないので, 議論に参加できないだろう. 大学の勉強は, 自主的・積極的に学ぶ姿勢が問われるが, 過去 2 年間そうしてきたかどうかは, 本人にしかわからない. そうしていない学生は何も身につけていないし役に立たない. 自分に素養や知識があるかどうかは, 他人に教えられるかどうかで自己判断できる. 他人にあやふやにしか伝えられないのであれば, 理解が甘いということであり, 理解が甘ければ役に立たない. 受動的であった授業と異なり, ゼミでは能動的・自主的に動くことを期待する.</p> <p>昨今, 巷では AI が人気であるが, そこで重要な影の技術は最適化である. 本ゼミでは, 問題発見・問題解決をするツールの 1 つとして確立された技術・知識である最適化を, 具体的に組み立て実行できるよう, 将来の自身の問題に対処する際に使える技術・知識になるよう, 講義・実技・演習・議論を通して身につけることを目標とする.</p> <p>なお, 関連する授業として, ゼミ所属時に未修得なら「データ処理Ⅱ (2/3 セメ)」「問題発見技法 (3 セメ)」を, また 3 年次には「最適化モデル分析 (5 セメ)」と「意思決定科学 (6 セメ)」を必ず履修することを課す.</p>						

ゼミナール紹介

担当者名	森 一将							
e-mail アドレス	morik@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	3404							
在室曜日・時限	相談は随時受ける。メールでアポイントメントをとること							
個別説明会（日時・場所）	相談は随時受ける。メールでアポイントメントをとること							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	6206	6206	6206	6206	6206	6206	6206
2019 年度担当科目	統計の見方、統計データの扱い方、経済データ分析、多変量のデータ解析							
選抜方法	定員を超えた場合はエッセイ（データ分析の合理性に関する論述）と面接により選抜を行う。							
ゼミナール紹介	<p>本ゼミでは、マーケティングなどの経営データ分析の基本的な理論体系の習得と分析結果に関する論述力をつけるためのトレーニングを行います。このため、前期と後期に分けて以下のような課題を行います。</p> <p>【前期】基礎力の養成の時期です。データ分析やその応用に関する本のうちから1冊を選び、重要事項を輪読形式で発表してもらいます。必要な数学的知識は教員から補足します。数学に苦手意識を持つ方も、必要な知識は最小限にしますので思い切って参加してください。</p> <p>【後期】基礎力の養成をつづけながら応用演習を行います。マーケティング分析に関する専門書を1冊選び、重要事項を輪読形式で発表してもらいます。また機材等の都合が合った場合は実際にPOSなどの実データを分析し、結果をプレゼンテーションしてもらいます。この場合も、必要となる知識等は教員から補足があります。</p> <p>このゼミでは、参加と行動（課題の実施や発表）が最重要視されます。数学的知識については、「統計の見方」を履修していればかまいません。教員のモットーは「習うより慣れよ」です。最初はわからない課題も繰り返すことにより理解し、使いこなせるようになります。まずは、みなさんの積極的な参加を期待します。</p> <p>注意：このゼミは無断欠席、遅刻は厳禁となります。ゼミ活動への不参加、無断欠席、遅刻をした学生には警告を与え、単位を不認定にする場合があります。履修の際に十分に注意してください。</p>							

ゼミナール紹介

担当者名		山崎 佳孝						
e-mail アドレス		yyama@shonan.bunkyo.ac.jp						
研究室		3303						
在室曜日・時限		火曜日、水曜日、金曜日 5 限						
個別説明会（日時・場所）		予約制（個別に対応）						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	×	○	○	○	×	×	×
	場所		4402	4402	4402			
2019 年度担当科目		人的資源管理論、人材開発論、経営組織論、経営学特論（異文化マネジメント） キャリア開発研究、知ナビ、アカデミックリテラシー、ゼミ I & I I						
選抜方法		1. 申請書と成績 2. 面接は必要に応じて実施することもある						
ゼミナール紹介		<p>山崎ゼミでは、グローバリゼーション、グローバル人事、異文化マネジメント、外資系企業を題材として、これらの知識の習得を目指します。また、将来、企業で活躍するために必要と考えられる（1）自分自身の考えをまとめてプレゼンできること（2）グループ活動ができることなどのスキル開発を目指します。授業ではグローバルや異文化マネジメントに関連した文献を扱います。ゼミでは、課外授業や合宿などを取り入れた、経験学習型授業を行います。自己スキル開発に関連しては、プレゼンテーション、チームマネジメント、レポート作成スキルが習得できるよう、授業に組み入れています。グローバリゼーションに対応して英語力向上への意識づけを行います。英語のレベルは問いません。興味があることが大切です。2019年度は5月に異文化コミュニケーション体験授業（外国人講師）、5月に浅草にて外国人を対象にした調査、7月に日本企業と外国企業の比較（外国人講師）、8月にブリティッシュヒルズで英国文化理解と英語力向上を目的としたゼミ合宿を行いました。秋学期は日本人と外国人講師を招いて、日本企業の現状についての講演及び、アドバンスト異文化コミュニケーションの授業を行う予定です。山崎ゼミの特徴はアウトサイドイン学習（情報収集・取り入れ）だけでなく、特にインサイドアウト学習（自分の考えや情報を発言・発信すること）で、知識の習得とスキルの向上を目指します。</p>						

ゼミナール紹介

担当者名	山本 颯一郎							
e-mail アドレス	yamamoto@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	3412 研究室 (3 号館 4 階)							
在室曜日・時限	金曜 4 時限目 (オフィスアワー)、その他火曜 2 時限目の前後など							
個別説明会 (日時・場所)	実施しない (詳細を聞きたい人は、直接研究室まで)							
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	○	○	○	○	○	○	○
	場所	研究室	研究室	研究室	研究室	研究室	研究室	研究室
2019 年度担当科目	ビジネスと法 A、ビジネスと法 B、ビジネスと法 C、その他							
選抜方法	定員を超えて応募があった場合には、選抜を行う。方法と基準は、法律系科目の単位取得状況と成績、その他の科目の成績を勘案し、また面接を行って、総合的に判断する。(なお、当ゼミに応募するためには、「ビジネスと法 B」の単位取得を必須とする。)							
ゼミナール紹介	<p>このゼミは、法律を学習していくことを目的とする。</p> <p>統一テーマを「IT・情報ネットワークと法」とする。このテーマのもとで、近年生じているさまざまな法律問題を取り上げて考察していく。たとえば、ネット上の著作権、個人情報保護、名誉棄損、プロバイダー責任、電子商取引、等々に関する法的問題である。これらを追究していく際には、民法・商法・会社法・知的財産法・憲法・行政法規などの一般的な法律の知識も必要になってくるであろう。結果として、IT・情報ネットワークに関する知識のみならず、一般的な法律の基礎知識や考え方もひろく修得していくことになる。</p> <p>ゼミでは、まず基本的な文献を読み、また実際の事件や判決を取り上げて分析したり、各種検定試験の問題を解いたりしていく。ゼミ受講生の報告が中心となる。受講生がある程度の法律知識を持っていることを前提として、基本的な事項に加えて応用的かつ詳細なことがらについて、全員で追究していき理解を深めていく。</p> <p>ゼミを安易に欠席することは許されない。ゼミにおいては、事前に割り当てられた事項について必要十分な調査を行った上で報告を行うことが求められる。また積極的に質問を行って議論に参加することが必要となる。</p> <p>テキストは後日提示する。また六法を必ず携行し折に触れて参照すること。</p> <p>知的好奇心が旺盛で、法律を真摯に学ぼうとする者を歓迎する。当ゼミでは、ビジネス実務法務検定試験等の資格試験を受験し合格することを推奨している。また公務員を志望する者にも受講してもらいたい。上のような努力や受験・合格実績は、ゼミの成績評価に大幅に加味する。</p> <p>このゼミを履修するためには、「ビジネスと法 A」「ビジネスと法 B」も含めた法律系科目を履修・単位取得しておくことを、強く勧める。また、3 年次には「労働法」「行政法」「ビジネスと法 C」も積極的に履修すること。</p>							

ゼミナール紹介

担当者名	浅川 雅美							
e-mail アドレス	asamasa@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	1316							
在室曜日・時限	火曜日 4時間目 木曜日 2時間目							
個別説明会（日時・場所）	事前に、メールをいただければ、個別に対応致します。							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	×	○	○	○	×	統一ゼ ミ? ×	○
	場所		1202	1202	1202			1202
2018 年度担当科目	消費者行動論（経営学部、健康栄養学部） 生活と広告、統計学、個人と社会 広告コミュニケーション論、コミュニケーション特講A（情報学部） ゼミナール（経営学部）							
選抜方法	ゼミ内容と志願理由の適合性および成績によって選抜します。							
ゼミナール紹介	<p>前期は、後期に実施する調査のテーマを決めるために、実際の学术论文を検索して、読んで、その内容を発表してもらいます。そして、後期に向けて、研究テーマを決定します。</p> <p>後期は、個人単位で、前期に決めたテーマで、調査を実施してもらいます。具体的な進め方は、以下のとおりです。</p> <p>調査票を作成する 調査実施 データを入力する データを集計する プレゼンテーション レポート提出</p>							

ゼミナール紹介

担当者名	青木 勝一							
e-mail アドレス	masa@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	6210							
在室曜日・時限	火曜 3限 金曜 2限							
個別説明会（日時・場所）	特に設定しません。質問・相談があれば個別に研究室に来てください。							
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	○	○	○	○	×	○	○
	場所	図書館 1F ラーニン グスクエア	図書館 1F ラーニン グスクエア	図書館 1F ラーニン グスクエア	図書館 1F ラーニン グスクエア		図書館 1F ラーニン グスクエア	図書館 1F ラーニン グスクエア
2019 年度担当科目	公共経営入門、公共経営論、地域経営論、非営利組織論、経営学特論B、知の探究、アカデミック・リテラシー、ゼミナール I							
選抜方法	成績、希望調書、場合により面接を実施							
ゼミナール紹介	<p>公共政策は、かつて行政組織が担うと考えられていたが、今では市民団体や NPO など「新しい公共」へとその担い手が広がり、市民一人ひとりが能動的に社会的課題を考えていく時代へと変容を遂げている。本ゼミではこの現状を踏まえ、学生が公共分野の課題に対して市民の一人として社会的課題をとらえ、考える能力を身につけることを目的とする。したがって、公務員志望者だけでなく公共的・社会的課題に関心を持つ学生の参加を予定している。</p> <p>テーマは公共政策に関わる地域的課題である。3 年生は各自の関心に基づき幅広いテーマを扱い、4 年生は卒業論文のテーマに絞ることを基本とするが、具体的なテーマは参加者の関心に基づき開講時に決める。</p> <p>ゼミの進め方は各自が決めたテーマ（まちづくり、地域振興、福祉政策など）について、1 回につき 1 人（あるいはグループ）で調査報告を行う。報告後の残り時間は、報告に基づくゼミ生同士でのディスカッションに充てる。</p> <p>これまでに公共経営論の授業を履修しているかどうかは問わない。選んだテーマについて、「何が問題か」という点をじっくりと考えて報告してもらいたい。他の学問分野同様、公共経営・公共政策では、制度、統計、実務現場での現状、利害関係者の関係などをよく吟味したうえで課題をとらえなければならない。ゼミでの報告でもこれらを踏まえた報告を期待する。</p> <p>また、そうして設定した課題に対する解決策も報告してもらおうが、ゼミではこの解決策について参加学生同士での活発に議論してほしい。最終的な解決策は何か一つ選択しなければならないが、その際、最適解は一つではないという前提で様々な解決案を比較考量する考え方を身に付けてもらいたい。</p> <p>公務員はもとより、公共経営に何らかの形で携わる場合、こうした思考方法の習得が必ず役に立つはずである。</p>							

ゼミナール紹介

担当者名	櫻井 宏明							
e-mail アドレス	hsakurai@shonan.bunkyo.ac.jp							
研究室	6217							
在室曜日・時限	月、金 16:30～17:30							
個別説明会（日時・場所）								
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否	可	可	可	可	可	可	可
	場所	6303	6303	6303	6303	6303	6303	6303
2019 年度担当科目	経済学の基礎、マクロ経済学、公共経済入門、経済学入門、公共思想論 知の探究、日本経済論、公共経済学、アカデミックリテラシー							
選抜方法	希望者が定員を超えた場合、面接による。							
ゼミナール紹介	<p>1. ゼミナール概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春学期は洋書の輪読を行う。これにより、英語による効率のよい情報収集の方法を学ぶ。 ・6月中旬をめぐり、各自の関心分野に関するレポートを提出する。このレポートをもとに、春学期最終回までに夏休み中に読むべき論文の一部を手交する。 ・夏休み中にさらに各自関心の深い分野に関する論文（先行研究）を集め、レポートにとりまとめる。 ・秋学期には当該レポートを発表する。議論として出た内容をもとにさらに先行研究を収集し、もう一度レポートを作成、再度発表する。 <p>2. 到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋書に慣れること。英語は知識を得るための手段であると同時に、翻訳は学術的な付加価値を有する。 ・文献調査に慣れること。各種企画立案に際して海外を含めた他の事例、経済学的考え方の会得は大いに参考になる。 ・発表に慣れること。他人に理解してもらえるように背景事情なども含めてわかりやすく説明すること。 							

ゼミナール紹介

担当者名		新任（会計学）						
e-mail アドレス								
研究室								
在室曜日・時限								
個別説明会（日時・場所）								
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	10/2	10/9	10/16	10/23	11/6	11/20	12/4
	可否							
	場所							
2019 年度担当科目								
選抜方法		定員超過の場合は、成績と希望調書により選抜する						
ゼミナール紹介		<p><主なテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 会計学（財務会計） 日本の会計基準のみでなく、国際財務報告基準（IFRS）もテーマに含む。 <p><概要></p> <p>主に以下の内容を中心とする。ただし、ゼミ生との相談により、取り扱う内容を柔軟に変更する可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ テキスト（もしくは論文）の輪読 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 課題テキスト（もしくは論文）について、分担を決めて発表を行う。 ✓ 発表の後、ディスカッションを行う。 ➤ 経営分析（財務諸表分析） <ul style="list-style-type: none"> ✓ 上場企業の中から同一産業に属する企業を複数選定し、財務指標の比較等を通して経営分析を行う。 ✓ 分担を決めて発表を行った後に、ディスカッションを行う。 <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ （ゼミ生の希望があれば）以下のようなイベントを企画・開催する。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 会計をテーマとしたプレゼンテーション大会 ✓ ゼミ合宿 <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ゼミの仲間と協働し、多様性を受け入れる。 ➤ 主体的に考えたいうで、積極的な発言でディスカッションに参加する。 ➤ 個人発表、チーム発表いずれの場合においても、自信をもって発表できるようになるまでしっかりと準備を行う。 ➤ 財務会計に関するテキストもしくは論文を理解できるようになる。 ➤ 経営分析手法を学び、財務諸表を読むことができるようになる。 ➤ 各自 1 年ごとに何か目標を定めて、その目標達成に向けて努力する。 						